

高校野球の第73回徳島県秋季大会第3日は21日、鳴門オロナミンC球場とJAアグリあなんスタジアムで1回戦2試合と2回戦3試合が行われ、鳴門、鳴門渦潮、生光学園が準々決勝に進んだ。徳島商と対戦した鳴門は11点差を逆転し、延長の末に15-13で打ち勝った。鳴門渦潮

秋季大会
県高校野球
第3日

は6-2で城東を破り、生光学園は阿南高専にコールド勝ちした。1回戦では、池田が6-2で城西に逆転勝ちし、阿南光は7-6で池田との接戦を制した。大会第4日の22日は両球場で2回戦の残り5試合が行われ、8強が出そう。(石川浩行、木村恭明)

【高専】打安点
⑧ 湯松 000
⑨ 森切 000
⑩ 表伊久西 010
⑪ 今 333
⑫ 振球 100
⑬ 徳盛 285
⑭ 盗 1

【生光】打安点
① 岡木 100
② 森小吉 000
③ 空石井 114
④ 久々々々 110
⑤ 大李佐奥 002
⑥ 中 100
⑦ 振球 100
⑧ 盗 309
⑨ 盗 8

久投高=殺
大暴一暴併
▽後残▽分
二塁打2失▽8試
▽保、奥生、1時
一高、4生、1時
二=2時間
安貴
手田 回7%98
木濱 5 30
佐々木 3 20

生光学園 五回集中打

阿南高専 反撃1点止まり

【評】生光学園が中盤 左前打や吉田の内野安打

【同(第1試合)】阿南高専 00000100
生光学園 0004002x81

の集中打で突き放した。2点リードの五回、2死走者なしから佐々木が四球で出塁すると、岡元の左前打や吉田の内野安打

などで畳み掛けて4点を追加。八回にも2点を加えた。阿南高専は七回、敵失を足掛かりに1点をかえたが、それ以外は

好機をつくれなかった。生光学園・佐々木龍成(5回を投げる)打無失点「1直球とスラ



イターをうまく組み合わせながら、初回から落ち着いて抑えることができ。攻守両面でバックに助けてもらった」